

1. 教育計画

看護の統合と実践

分野	統合分野 看護の統合と実践	科目名	災害看護と国際看護
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	4 年生
方法	講義、演習	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	<p><災害看護> 法人講師 志賀 桂子 (12 時間) 法人講師 佐久間 守雄 (2 時間)</p> <p><国際看護> 外部講師 後藤 あや (6 時間) 外部講師 (4 時間) 外部講師 大橋 美貴 (4 時間)</p>		
学習目標	<p>I. 生命や生活の危機を招く災害や国際的健康危機を乗り越えるための課題を見出し、資源を活用して課題解決に向けてマネジメントできる能力を養う。 II. 世界の健康問題を捉え、看護の役割について考える。</p>		
成績評価方法	<p>災害：外部講師 筆記試験 50 点 国際：外部講師 筆記試験 50 点</p>		
使用テキスト	メチカルフレンド社：看護の統合と実践②③ 災害看護・国際看護学		
参考文献	国際看護：国際保健医療学会（編）「実践グローバルヘルス：現場における実践力向上をめざして」杏林書院		
履修上の留意	毎回、グループディスカッションを含む演習を行います（国際看護）		
講師からの メッセージ	<p><災害看護> 災害時に対する基本的な知識や看護師の役割を習得し、実践で活かせるように一緒に学習していきましょう。</p> <p><国際看護> 世界の人々の健康を守るためのより良い保健医療システムをつくるためには、各地域における人々のニーズに合ったサービスの提供が必要となります。国際看護の講義では、このプロセスに関わる実践的な知識を学びます。</p>		

2. 授業計画

<災害看護>

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	災害看護の概要	災害看護の定義・変遷 災害分類・サイクル、関係法規 災害時の支援体制、医療体制、倫理	講義	
2	2	災害時の看護活動	超急性期・急性期、亜急性期の災害保健医療と看護実践	講義	
3	2	災害時の看護活動	慢性期、静穏期の災害保健医療と看護実践	講義	

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
4	2	特殊災害時の活動	放射線災害	講義	佐久間
5	2	被災者への看護介入	要配慮者への看護 災害時のメンタルヘルス 被災者への保健活動の実際	講義	
6 7	4	罹災下における看護活動、演習	災害に関連した特殊な医療・看護実践 災害時特有の疾病 国際貢献	講義	
8	2	評価	筆記試験（国際看護と合わせて）	講義	志賀

<国際看護>

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	国際保健：概論1	世界の健康課題と国際協力の体系について学ぶ	講義 演習	後藤
2	2	国際保健：概論2	海外の事例検討を通じて、社会経済状況や文化を考慮したアプローチを学ぶ	講義 演習	後藤
3 4	4	外国人診療・渡航医学	外国人診療・福祉対応の事例、日本人患者が渡航する事例を通じて、臨床面で必要な知識を学ぶ	講義 演習	外部 講師
5	2	国際保健：応用1	海外でプロジェクトを計画・実施、また、海外へ技術移転する際の手順について、実例を通じて学ぶ	講義 演習	後藤
6	2	異文化理解と国際看護活動 国外の災害と看護	1. 文化的存在としての人間理解 2. 文化を考慮した看護 3. 国際看護活動に必要な能力 4. 国際救援活動	講義	大橋
7	2	国際看護の実際	1. 国際協力活動の実際 2. 海外における看護活動の実際 3. 在日外国人への看護活動の実際 4. 保健医療分野における医療機関 5. 国際看護活動を推進する人々 6. インドネシアにおける母子保健活動の実際 （青年海外協力隊の活動）	講義	大橋
8	2	評価	筆記試験（災害看護と合わせて）		後藤